

ふれあい

発行年月

令和元年 11月

発行者

Secca 島根県グラウンド・ゴルフ協会

〒699-0825 出雲市神西新町49 中尾 允 方

TEL・FAX (0853) 43-8833

E-mail info@shimane-gga.com

ホームページ <http://www.shimane-gga.com/>

印刷

(株)報光社 TEL(0853)63-3939

いよいよ「令和」が始まりました

島根県グラウンド・ゴルフ協会

会長 藤 間 元 康

平成から令和に代わりました。島根県協会の30年間を振り返ってみたいと思います。

このスポーツは昭和57年に鳥取県の泊村で産れたものです。当時は鳥取から普及活動として島根によく来られていました。

第1回全国スポーツリレーション祭が、昭和63年に山梨県増穂町で開かれました。島根県で初めてのグラウンド・ゴルフの予選大会を浜山公園で開催し、全国大会に10人のプレーヤーを派遣しました。

全国スポレク祭に参加した人たちの働き掛けもあり、島根県グラウンド・ゴルフ協会が翌年の平成元年4月1日に設立されました。会長には設立総会にも参加しておられた倉井毅氏に決まりました。それから29年間も倉井さんには会長としてお世話いただきました。

平成5年には全国スポレク祭が島根県で開催されることになりました。開催地に立候補した平田市は、グラウンド・ゴルフは未普及でした。そこで、大会だけやっても意味がないということで、旧村単位に講習会を開くと共に平田市グラウンド・ゴルフ協会を設立していただきました。

平成7年には美保関町で全国健康福祉祭が開催されました。美保関町も平田市と同じくグラウンド・ゴルフの未普及地でした。旧村単位で講習会を提案したのですが、美保関町の担当課長は自分が責任をもって普及するから中学生にスコアラーをさせてくれと逆提案されました。会場の隣接地が中学校ということもあり、大会は盛り上がったと思います。

これら二つの全国大会を振り返ってみると、まだまだ組織がしっかりしておらず、島根方式と銘打っての親睦を優先ののんびりした大会だったと思います。両大会を契機として、グラウンド・ゴルフが皆さんに知れ渡るようになったと思います。

平成29年9月には第30回全国グラウンド・ゴルフ交歓島根県大会を浜山公園で開催しました。大会規模だけでも大きなものでしたが、お世話する皆さんの年齢も高くなっており心配しましたが、スムーズな運営ができたのは皆様のご協力の賜物だと思います。この大会運営には、日本協会の園山会長も感心しておられ、次期開催県にも大いに参考になったことと思います。

島根県協会の会員数は、平成18年度に4,000人を越え、平成22年度には4,836人をピークとし、その後は会員の高齢化等により徐々に減ってきており、平成30年度は4,126名となっております。島根県協会は、他県の著しい減少状況と比較しても頑張っているところだと思います。皆様方のご協力に感謝申し上げます。

五月から新しい年号となりましたが、共に新たなグラウンド・ゴルフの新時代を築いていきましょう。



平成29年9月



平成29年9月



平成29年9月



平成29年9月

グラウンド・ゴルフとの 出会い

金城町協会 隅田正三

私がグラウンド・ゴルフと出会ったのは、平成2年秋の転勤を契機に、地域のシニア世代の友の会をつくり、グラウンド・ゴルフを媒体とした地域交流を行ったことであった。平成17年までは、石見各地のグラウンド・ゴルフ場を訪ねては、年間3回程度の大会を開催して、愛好者を増やしてきた。

金城町でもグラウンド・ゴルフ場を是非とも建設してほしいと推進活動を行い、今福スポーツ広場にグラウンド・ゴルフ場が造成され、金城抱月ライオンズクラブ在籍中にもグラウンド・ゴルフ大会を開催してきた。

平成17年3月の退職後は、地元のほたる湯館敷地7,000㎡のなかに、4,000㎡の原野を有効活用してグラウンド・ゴルフ場を設置することになり、平成20年11月から有志14名が3万円ずつ出資して、半年間に亘って労力奉仕活動でグラウンド・ゴルフ場設置に取り組んだ。2トン車で500台の真砂土を運び込み、コースは全て厚さ20cmの畝状とした。これは波佐地方の年間降雨量が多いため、水はけの良いコースとするためであった。このため、これまでに台風で大会を2回中止した以外は、雨天でも大会運営が出来る施設として、重宝がられている。

このグラウンド・ゴルフ場は、ほたる湯館グラウンド・ゴルフ場と称し、ふるさとの偉人、島村抱月・能海寛の雅号から抱月コース・石峰コースと命名した天然芝の2コースで、管理室・クラブハウスのほかバーベキュー場も併設している日本グラウンド・ゴルフ協会の認定コースで、このほど満10年を迎えた。

主催大会は、平成21年7月のオープン大会を皮切に、日本グラウンド・ゴルフ協会員交流大会、抱月杯大会、石峰杯大会、ほたる杯大会、月例大会、ペアー杯大会、チャンピオン大会などで、年間11回の大会を行っている。大会参加者は、浜田市内全域、江津市、邑南町、北広島町などからで、表彰式では大会成績表を配布し、大会終了後は「ほたる湯館グラウンド・ゴルフ場だより」を発行している。

ほたる湯館グラウンド・ゴルフ場では、インターネットでも情報発信しており、過去の大会成績など全てを閲覧できるようにしている。このグラウンド・ゴルフ場は、大会運営がしやすく、コース移動がスムーズにでき、高齢者も楽しくプレーできる。また、雨天でもプレーができることなどのメリットがあり、各種団体の大会会場としての貸出も行っている。

金城町波佐 ほたる湯館
グラウンド・ゴルフ場だより

第 120号
2019年10月25日
浜田金城町波佐イ267-2
TEL (0855) 44-0555

第11回ペアー杯G・ゴルフ大会

第11回ペアー杯G大会は、10月27日(日)に16組の参加の下で、ほたる湯館グラウンド・ゴルフ場において開催しました。優勝は ビットンコチーム(西谷誠規・西谷美恵子)(91)、準優勝は江津Aチーム(城山勝吉・伊藤友子)(94)、第3位は河崎チーム(河崎繁人・河崎浪子)(100)、第4位=栄和チーム(金崎和人・植田サダヨ)(103)、BB賞=浜田Bチーム(茂田弘・宇野弥生)の皆さん。

【飛び賞】第5位=あすなるチーム(原田義信・永見茂子)(103)、第10位=浜田Cチーム(山崎秀司・藤岡康子)(110)の皆さんでした。※大会状況は<http://hazaway.com/>の「波佐ネット通信」で配信中です。【ホールイン・ワン賞】西谷誠規、西谷美恵子、河崎浪子、金崎和人、永見茂子、岡本松男の皆さんでした。



写真左から江津Aチーム、ビットンコチーム、もみじチームの皆さん



【第11回チャンピオン大会】11月25日(月) 午前9時スタート
4月から開催した10大会の25位までに入賞された81名のメンバーで令和元年度のチャンピオンが決定します。該当者には、個別にお知らせします。

第3回 松江ブロック協議会 交歓大会実施報告

八雲町協会 水野静二

第3回松江ブロック協議会交歓大会を7月2日に、八雲町中央公園で320名が参加し開催しました。松江ブロック協議会は、松江市、宍道町、玉湯町、八雲町、東出雲町、八束町、美保関町、鹿島町の中海・宍道湖を囲む8市町の協会で構成されております。ブロック大会の会場と運営は、毎年、各協会の順番としており、大会はそれぞれの協会の特色が発揮され、それが楽しみの一つとなっています。

県大会の会場は、主として出雲ドームと浜山公園ですが、松江ブロックからの参加者は100名前後にとどまっています。県大会をブロック内で開催することは、会場が近場で地区の県協会会員が参加しやすくなるため、ブロック内の会員の交流が進み、ひいては県協会会員加入促進に繋がります。このことがブロック大会を実施する最大の目的であると思います。

本大会の成績は素晴らしく、総合の部1位～3位は打数20台、ホールインワン121個(107人、3人に1人達成)、ダイヤモンド賞一人、また男女入賞者20名の打数は37打以下などとなりました。また大会の賞品については、ラッキー賞を60名に提供するなど少々奮発しました。

梅雨時期の大会でしたが、当日は幸いにも好天に恵まれ、事故もなく無事終えることが出来ました。後日になって、「なかなか、いい大会だったよ」との声が耳に入るたびに八雲町協会役員一同、胸をなで下ろしています。今後もこの大会の参加者が増え、松江ブロック協議会が益々発展し、そのことが島根県協会の会員増加に繋がることを思い、報告とします。



雲南市立 加茂小学校 クラブ活動



加茂町協会 中林 誠

加茂町協会では、昨年からの加茂小学校の授業の一つとしてグラウンド・ゴルフのクラブができたことを契機に、そのお手伝いを行っています。協会役員8名が4年生・5年生・6年生約25名～30名を4時限目に40分間指導しております。時間が少ないため、ルール・マナーを少しずつ指導しつつ、プレーも取り入れて行っております。児童は、のみ込みが早く、ホールインワンもよく出します。年間3回までしか実施できませんが、雨天の日は、体育館にコースを作り、行っております。

エチケットとルールを守って 楽しいグラウンド・ゴルフを

大田市協会 小田 ヨシエ

2010年3月30日(火)晴。大田市協会定例大会は私のグラウンド・ゴルフデビュー日です。大田市協会では年間18大会が開催されています。グラウンド・ゴルフを始めた頃は、エチケット・ルール等あまり気にせずにプレーを楽しんでいました。

大田市協会では昨年から、各大会の開会式で大会指導委員会の役員さんより、毎回プレーに関するテーマを掲げて、説明されます。例えばエチケットについては、プレーヤーが打つために構えたら私語や大声を出さないこと、お互いに安全に気持ちよくプレーが出来るように注意することなど。またルールについては、マーカーの置き方やホールポスト周りでの間違っただ打ち方を実技で示し、説明されます。一方、よいプレーにはナイスプレー、ワンが入ったらおめでとう良かったネと共に喜び合うこと、成績ばかりにこだわらず楽しくプレーをするようにと。それでも違反や気に掛かることがある時は、言った人ばかりが悪くならないよう遠慮せずに皆で注意すること、注意された人も素直に認めることなどなど、大会参加者全員が平等にプレーを楽しめるようにと尽力されております。そのあと、会場に拡がり、女性部長の号令で、大田市民愛唱歌をバックに、クラブを持ってストレッチで体をほぐしてからプレー開始です。

このような指導が徐々に実り、最近では大会会場の処々で「ナイスプレー」「おめでとう」の声が度々聞こえるようになりました。とても嬉しいことです。グラウンド・ゴルフは健康に良く、気軽に楽しめるスポーツです。私も10年を迎えます。エチケットとルールを守り楽しくプレーが出来るよう心がけたいと思っています。

大田市協会の今年度の大会目標は「人の振り見て我が振り直せ」で、会員全員がお手本です。お互いに多いにグラウンド・ゴルフを楽しみましょう。



ローカルルールについて

宍道町協会 高橋 美雄

グラウンド・ゴルフのルールは、日本グラウンド・ゴルフ協会が定めた16条の条文によります。グラウンド・ゴルフは、プレーヤーの自律性が重視され、自分自身を審判する公平性や公正さが求められる中で、ルールはグラウンド・ゴルフの基本理念に基づいたゲームの進め方やプレー上の決まり事を明文化したものといえるでしょう。

しかしながら、グラウンド・ゴルフは自然の中でおこなうスポーツであり、本来公平であるべきプレー条件(環境)が例外的に不公平を生じさせる場合もあります。例え認定コースであっても林間に開設したコース等では地形等によりアウトボールの処理方法で特別の方法を定めた方がより公平になる場合もあります。こうした例外的処置を定めた方が結果的に公平になると考えられる場合は、大会の主催者により独自のローカルルールを定めるというところが行われております。

日本グラウンド・ゴルフ協会のルールの中にはローカルルールという言葉はありませんが、本来のルールに規定されている方針と矛盾しないものであれば、地域的な異常な状態に対応するためローカルルールを作ることができるとの考え方によるものです。

グラウンド・ゴルフルールQ&A

第20回島根県2級3級普及指導員研修交歓大会が平成30年11月20日(火)に出雲健康公園で開催されましたが、研修会での質疑応答の要旨をまとめましたので、参考にしてください。

副会長・普及指導員育成委員長 春日 茂



Q1 6人グループでプレー中、打順1番と打順2番のプレーヤーが2打目を同時に打ち、二人とも止まりとなったが、どのように処置すればよいか。

A1 結論から言うと、二人とも止りです。ただし、同伴プレーヤから要求があれば、打順2番のプレーヤーは元の位置から打ち直してください。

Q2 プレー中にエチケット・マナーに反する場面に遭遇した場合、どのように対応をすればよいか。

A2 その場で注意して下さい。ただし、プレーの妨げになるときは状況を考えて、後で注意して下さい。エチケット・マナーは、日頃からお互いに注意し合うことが大切です。

Q3 スコアラーの役割とあり方について、次のことの周知と再確認が必要ではないか。

①プレーヤーは、止り打数をわかりやすくスコアラーに申告する。 ②スコアラーは、申告打数を記載する。 ③スコアラーは、自己判断で打数を記載しない。 ④自分のスコアは記載せず、他のプレーヤーが記載する。

A3 指摘事項を常に心掛けて、スコアトラブルがないようにしてください。

Q4 クラブを振り抜いたら、スタートマットとボールと一緒に飛んだ。クラブにボールが当たったかわからない。どのようにすればよいか。

A4 同伴グループで判断してください。

Q5 移動式のスタートマットは、どの範囲まで移動してもよいか。

A5 スタートマットは、動かないようにピン等で固定してください。しかし、会場によっては固定できない所もありますが、スタートマットが動いた場合は、スタートマット位置の印の所に戻してください。

Q6 マーカーの置き方については、ルールブックに図示してありますが、最近、「ズル」が見受けられる。「マーカーは正しく置きましょう」では、改善しないと思うが。

A6 マーカーの正しい置き方は、講習会等でもたびたび指導しているが、「ズル」があることはよく聞きます。見かけられたら、その都度その場で注意してください。

Q7 同伴プレーヤが打つときは、スタートマットやホールポストの近くや後ろに立たないことは、安全面で第1打目は当然と思うが、2打目・3打目でも、「どいてください」との強制排除があります。これは当然の権利か、言い過ぎか、教えてください。

A7 会場やコースの取り方でいろいろな状況があると思いますが、他人に迷惑を掛けたり、不快感を与えないことを心掛けて、グラウンド・ゴルフを楽しんでください。

ホールインワンカード事業について

1. 事業趣旨

日本協会・島根県協会会員の確保と島根県協会の活性化を図るため、屋外会場及び屋内会場において、それぞれホールインワンを10個・20個・30個達成した会員に記念品を贈呈する。

2. 対象大会

島根県協会が主催・主管する大会

ただし、中国地区大会、全国大会及び鳥取県との交流大会は除く。

3. 実施方法

- ①大会の閉会式終了後、ホールインワン達成者の申し出に基づき、大会役員はホールインワンカード（表面：屋外会場用、裏面：屋内会場用）にホールインワン1個毎に確認印1個を押印し、大会開催日を記入する。
ただし、押印は当該大会当日に限る。
- ②ホールインワンカードの有効期限は定めないが、屋外会場・屋内会場ともそれぞれ30個で終了とする。
- ③ホールインワンカード・ケースを全会員に配布する。
- ④ホールインワンカード・ケースは、無料配布とするが、紛失した場合はホールインワンカード(ケース込)を100円で販売する。
- ⑤カードを紛失した場合は、それまでのホールインワン達成実績は無効とする。
- ⑥退会した場合、ホールインワンカードは無効とする(市町村協会が回収し、破棄する)。
- ⑦ホールインワン達成者は、10個単位で所属する市町村協会にホールインワン達成を申し出る。市町村協会は、カードの写しを添付し、ホールインワン達成申請書を島根県協会に送付する。
- ⑧島根県協会は、申請書とカードの写しを確認し、記念品を贈呈する。記念品は、市町村協会に送付する。
- ⑨本事業は、2019年度から実施する。



16ホール15打!!



15

伯太町協会の小松原京子(84歳)さんは、6月22日に伯太グラウンド・ゴルフ場で開催された伯太町協会月例会(8ホール×2ラウンド)において、打数15(ホールインワン5個)を達成されました。この記録は、これまでに県協会を通してダイヤモンド賞申請されたなかで、屋外会場と屋内会場を併せても最少打数です。会員の皆様は、今後この記録を目指して練習等に励んで頂ければと思います。



ホールインワン基金で福祉活動車3台贈呈!!

ホールインワン基金は、日本協会創立20周年記念事業として設立されましたが、平成30年度の島根県協会のホールインワン基金は、下表のとおりでした。

島根県協会は、ホールインワン基金を活用し、これまでに、JR松江駅とJR出雲市駅に車椅子を、また島根県社会福祉協議会には普通車のライトバンを贈呈しました。平成23年には島根県協会創立20周年事業として、松江市・出雲市・安来市の社会福祉協議会に軽自動車3台を贈呈し、平成28年度には創立25周年事業として益田市・雲南市・邑南町・吉賀町の社会福祉協議会に軽自動車4台を贈呈しました。

本年度は、創立30周年事業として、平成31年5月14日に開催した第56回島根県グラウンド・ゴルフ交歓大会の開会式において、島根県社会福祉協議会、飯南町社会福祉協議会及び西ノ島町社会福祉協議会に福祉活動車両を贈呈しました(事業費3,805,247円)。

今後とも、ホールインワン基金を活用し、高齢者福祉等を支援したいと考えておりますので、皆様方のご協力をお願いします。



平成30年度ホールインワン基金

NO.	団体名	基金額計(円)	NO.	団体名	基金額計(円)	NO.	団体名	基金額計(円)
1	島根県協会	149,794	12	鹿島町協会	47,300	23	大田市協会	25,900
2	雲南ブロック協議会	4,000	13	出雲支部協会	148,700	24	江津市協会	74,285
3	大田邑智ブロック協議会	9,000	14	出雲支部協会今市GGC	23,300	25	桜江町協会	9,800
4	安来協会	28,200	15	出雲支部協会大津協会	23,800	26	浜田市協会	12,000
5	広瀬町協会八幡町同好会	15,200	16	出雲支部協会川跡悠遊クラブ	26,100	27	金城町協会	23,260
6	広瀬町協会布部同好会	37,150	17	出雲支部協会神西協会	15,100	28	旭町連合同好会	12,000
7	松江市協会	51,300	18	斐川町協会	46,300	29	益田市協会	77,750
8	美保関町協会	8,700	19	大社町協会	23,200	30	益田市協会ひだまりパークみと	215,240
9	八雲町協会	41,400	20	出雲市協会	49,700	31	益田市協会万葉公園	197,300
10	八束町協会	13,100	21	大東協会	14,200	32	吉賀町協会	8,800
11	東出雲町協会	22,100	22	加茂町協会	27,500	33	海士町協会	10,900
							合計	1,492,379



第1回 島根県知事杯 交歓大会開催!

第1回島根県知事杯交歓大会が、9月6日(金)に島根県立浜山公園陸上競技場・球技場で県内全域から765名が集まり、開催されました。開会式では、公務多忙なところ出席されました丸山達也島根県知事から来賓挨拶がありました。また、閉会式では、丸山知事から総合優勝者に島根県知事杯が授与されました。

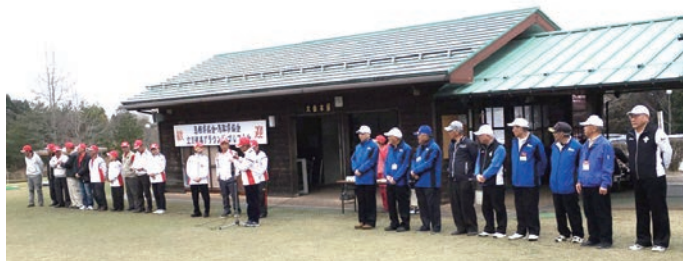
大会当日は、残暑が非常に厳しく、熱中症による途中棄権もありましたが、丸山知事の出席もあり、盛会に終えることが出来ました。来年度は、参加者の健康に配慮し、9月中旬開催を予定しております。



島根県協会・鳥取県協会 交流親善大会開催!

島根県協会・鳥取県協会交流親善大会が、島根県協会と鳥取県協会の相互の交流と親善を深めるため、4月8日(月)に鳥取県東伯郡北栄町の「レークサイド大栄」で、島根県協会80名・鳥取県協会100名が参加し、鳥取県協会の主管で開催されました。島根県協会の参加者は、往復ハガキによる申込と抽選により決定しました。

来年度は、島根県協会が主管し、4月上旬に出雲健康公園多目的運動場で開催予定です。会員の皆様の奮っての参加をお待ちしております。



編集後記

2015年度よりブロック大会、2019年度よりホーインワンカード事業の導入など新しい事業がスタートしました。大会会場も出雲ドームと浜山公園を併用し、多くの皆さんに参加していただく体制を整え、さらに男女別表彰制度により入賞者の倍増となりました。

県協会の課題は、会員の高齢化による退会、新規会員の加入減、運転免許証の返納などによる会場への足の確保などがあります。これらの課題解決には、会員相互の協力や新規会員の加入促進などが求められます。

(足立璋光)